

公社等外郭団体改革進行管理表

公 社 名		公益財団法人 高知県魚さい加工公社		主管課名	環境対策課
役 割		魚腸骨等の適正な再生利用に関する各種事業の実施及び再生利用促進のための知識及び指導の普及啓発			
改革の方向性		健全経営の確保	主な事業内容 ・ 魚腸骨等の再生利用（鮮魚店や量販店、水産加工場等から排出される魚さいを魚粉や魚骨などに加工して、飼料や肥料等の原材料としてリサイクル） ・ 魚腸骨再生利用の普及啓発		
令和6年度までの取組実績	1 施設整備 ・ 平成17年4月から新施設で操業を開始。		経営課題等	【経営課題】  <u>令和5年度から魚粉単価が上昇したことにより、単年度収支は約15,523千円</u> の黒字ではあるものの、魚あらの収集量は年々減少しているため、安定した収集量の確保が課題。 また、施設の減価償却引当が行われておらず、正味財産は減少傾向にある。 加えて、現在地に移転して <u>20年</u> が経過しており、今後は設備類の修繕費用の増加が見込まれる。 このため、安定した経営を確保するためには、今後の公社のあり方も含めた抜本的な対策を検討していく必要がある。	
	2 運営体制の転換 ・ 平成17年4月からは、財団専任の事務局長（専務理事）を置いて独自の運営体制を整え、事務局への人的支援を廃止するなど、県の関与の見直しを行った。			正味財産期末残高（前年度との差額） H23年度 544,769千円（△31,048千円） H24年度 487,818千円（△56,951千円） H25年度 449,301千円（△38,517千円） H26年度 427,228千円（△22,073千円） H27年度 394,552千円（△32,676千円） H28年度 374,466千円（△20,086千円） H29年度 353,671千円（△20,795千円） H30年度 333,522千円（△20,149千円） R 1年度 322,465千円（△11,057千円） R 2年度 302,067千円（△20,398千円） R 3年度 295,905千円（△ 6,162千円） R 4年度 286,872千円（△ 9,033千円） R 5年度 287,639千円（ 767千円） <u>R 6年度 281,141千円（△ 6,498千円）</u>	
		3 収支・財務の健全性の確保 ・ 令和6年度の当期収支は <u>15,523千円</u> の黒字 次期繰越収支差額は <u>74,757千円</u> の黒字			
		4 魚さいの適正処理と再生製品の出荷 ・ 令和6年度の収集量 <u>2,321 t</u> (前年比 <u>90.2%</u> ) ・ 令和6年度の再生品製造出荷量 <u>547 t</u> (前年比 <u>95.3%</u> )			
		5 平成25年4月1日に公益財団法人へ移行。			
【令和7年度以降の取組方針】  ・ 令和2年度から、公社、県、構成市町村による「高知県魚さい加工公社におけるリスク対策の協議」において、緊急停止時の代替処理方法や、今後の施設修繕計画、公社の延命化等について協議を行っており、引き続き公社の健全経営の確保のため、県、構成市町村の支援のあり方も含めて検討していく。また、公社に対して、経費縮減に努めるとともに、取引先の開拓や市場調査、分析などにより、受入量の確保及び拡大を図るよう引き続き要請していく。					